

1) 児童発達支援・放課後等デイサービス Natural & Organic Manma

2) 2025年6月17日更新

3) Manma理念

私たちは、子どもたち一人ひとりが「ありのままの自分」でいられることを大切にしています。

無理に形をそろえず、その子らしい芽吹きや、成長のリズムを尊重しながら、自然の流れに沿った支援を心がけます。「できる」に向かうプロセスにも、その子らしい輝きがあり、過程を大切にします。

オーガニックやナチュラルであることを大切にしています。

子どもたちの健やかな成長と未来に美しい地球を残すため、日用品や食材は、安心して安全な原材料を選択します。

「豊かな自然」は違いを受け入れ、個性を大切にしながら全体は調和しています。受け入れられる安心と信頼の土壌で、自分を大切にする心を育み、人とつながり、少しずつ誰かのチカラになれたよ、と思える経験を重ねることで自尊心と思いやりをもって、しあわせに人生を歩んでいけるチカラを育みます。

子どもたち、保護者の皆さま、地域の皆さま、職員で育ち合うことを大切にします。

一人ひとりが自分も他者も大切にできる社会、多様性を認める社会を実現し、世界に平和の輪を広げます。

4) 支援方針

子どもたちが自分らしく輝けるように、自分のチカラで社会と繋がり、生きていけるように、感覚・運動・生活・関係・言葉のすべてを紡ぐ支援を行います。

「あそび」の中で体力・筋力を養い、必要な刺激を与えます。運動は脳を耕します。

指導員も一緒に夢中になってあそびます！”寄り添う”を超えて”伴奏する”ことで、子どもたちはいつのまにか自分たちであそびの世界を広げていきます。その中での衝突、仲直り、ルールや世界観のすり合わせなどは、最高のコミュニケーションの学び場です。

療育は「特別」なことではなく「日常」で行うことです。着替えや掃除、靴ひもを結ぶ、お料理は、指先をたくさん使います。段取りを考えることは見通しを立てることに、工夫することは応用力を身につけることに繋がります。そのための、一人ひとりに合った支援方法を考え、実践し、家庭でも取り組めるよう保護者の皆さまと共有します。

5) 営業時間

・月～金曜日、土曜日（月に2回）

・10:30～18:00

6) 送迎実施の有無

→あり

7) 本人支援内容（五領域との関連）

Manma支援プログラム

	児発	放ディ
1. 健康・生活	生活に必要な基本的技能を身に付けます 日常的な健康管理は特別なことではありません。日々のいのちの営みの中でやりとりをする、ひとつひとつの動きを一緒に丁寧に振り返ります。 手洗いやうがいをしたら「きれいになって、かぜのばい菌やっつけたよ！」汗を拭いたら「気持ちいいね」「身体は汗をかくことで、熱くなった身体を冷ましているんだよ」と言語化しながら、肌感覚を実感しながら、日常生活に必要な知恵や習慣を身につけます。また、お掃除や整理整頓、調理など、生活に直結する営みを習慣化することで、自分で何でもできるスキルを身につけます。 その瞬間ごとに感じた気持ちを共有し「分かってもらえた」など、安心して過ごせる環境の中で。	自分で気づいて取り組む力を養います 日常の健康管理や生活動作を獲得し、自立して整えられるように支援します。 ハンカチは持っているかな？シャツは出ているかな？汗で濡れていないかな？気候はどうか？など、自分で気づき、整えられる力を育みます。また、お掃除や整理整頓、調理など、生活に直結する営みを習慣化することで、自分で何でもできるスキルを身につけます。 心の健康の保持増進にも目を向け、安心して挑戦できる環境の中で小さな失敗の乗り越え方遊びのなかから学んでいきます。
2.. 運動・感覚	姿勢や動きの基本を育みます <u>子どもは発達途中であるため、運動により脳が刺激され、未成熟であった構造がしっかりと育まれ、神経細胞及びグリア細胞が増殖。グリア細胞が増殖することにより、神経細胞から出ているニューロン同士の接合部分シナプスの接合が強化安定し、記憶などあらゆる機能が向上します)【構造が機能を決定】</u>	姿勢や動きの基本を育みます <u>子どもは発達途中であるため、運動により脳が刺激され、未成熟であった構造がしっかりと育まれ、神経細胞及びグリア細胞が増殖。グリア細胞が増殖することにより、神経細胞から出ているニューロン同士の接合部分シナプスの接合が強化安定し、記憶</u>

	日常生活に必要な基本的な姿勢や動き（手足を動かすことや立つ・座る・歩くこと）に必要な力を、遊びの中で自然に伸ばせるよう、脳幹の発達を促す高ばいやずりばいを取り入れた運動/遊びを行います【脳幹→体幹→体感（五感）】 鬼ごっこや公園での外遊び、ボール遊びなどで体幹や体力の強化、ボディイメージを形成していきます。感覚特性をもつお子さんについては、快適に過ごせるにサポートしながら。 様々な素材に触れる体験をすることで、環境を整えたり感覚に対する過敏さを和らげ、五感を養います。	などあらゆる機能が向上します）【構造が機能を決定】 日常生活に必要な基本的な姿勢や動き（手足を動かすことや立つ・座る・歩くこと）に必要な力を、遊びの中で自然に伸ばせるよう、脳幹の発達を促す高ばいやずりばいを取り入れた運動/遊びを行います【脳幹→体幹→体感（五感）】 鬼ごっこや公園での外遊び、ボール遊びなどで体幹や体力の強化、ボディイメージを形成していきます。体幹強化やバランス感覚を養うことは、学校生活にも生きるでしょう。感覚特性をもつお子さんについては、快適に過ごせるようサポートしながら。 様々な素材に触れる体験をすることで、環境を整えたり感覚に対する過敏さを和らげ、五感を養います。。
3. 認知・行動	好きや得意を伸ばします 選択遊びの時間を設けています。積み木や折り紙、塗り絵やレゴなど好きな遊びの中で空間認知力を養います。 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることにより、それらを認知し、行動の手掛かりとして活用できるように。 物の貸し借りや場所を譲るなど、相手と関わる中で必要なコミュニケーションを経験し、共に身につくように。	みんな違ってみんないいことに気付く 選択遊びの時間を設けています。積み木や折り紙、塗り絵やレゴなど好きな遊びの中で空間認知力を養います。 小集団の中で友達と関わり、人との適切な距離感、声の大きさ、言葉の選び方など、コミュニケーションが円滑に行えるように。 年間を通してカレンダー作りをし、自分でスケジュール管理ができるように取り組んでいます。

4. . 言葉・コミュニケーション	伝える・伝わる喜びを大切にします 挨拶からはじまり、簡単な言葉のやり取りを積み重ねます。その中で伝わった喜びや嬉しさを感じ、また伝えたいという気持ちにつなげていきます。 就学準備を見据え、カルタや絵本の読み聞かせなどを通し、言葉や文字への興味を深め、自ら学ぶ意欲を引き出します。	自分の思いを伝える力を養います 自分の思いや困ったことなどを、言葉や身振り手振りで表現できるように。葉の選び方や声の大きさ、口調など、日々の関りの中で気づいたことを伝え、相手の気持ちを考えられるように。 必要に応じて、絵カードなどの視覚支援を取り入れ、よりわかりやすく伝える工夫をしています。
5. 人間関係・社会性	安心できる場を提供します 気持ちを知ることから始め、言葉で表現できていない感情を言語化し、共有します。わかってもらうことで安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるように関わります。 ごっこ遊び等を通して、人との関わりに必要なやり取りを体験し、掃除や整理整頓、調理など、生活に直結する営みを習慣化することで、細かなことに気づけ、してあげたいという利他の気持ちが育まれ、ありがとうと言ってもらえる喜びを体験し、社会性を育みます。 【環境との関わり】 いのちの循環にふれる体験を重ねます。身の回りの環境や自然とのふれあいの中で、五感を通して「世界」とつながる感覚を育みます。 春にはたんぽぽの綿毛を追いかけて、夏にはセミの声を聞きながら、秋には色とりどりの葉っぱを集めて、冬には空気の冷たさに触れて。	安心して自分を出せる場を一緒に作ります 気持ちを知ることから始め、言葉で表現できていない感情を言語化し、共有します。わかってもらうことで安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるように関わります。相手の気持ちを理解し、他者と自分との違いに気づき、相手を受け入れられるように促します。 公共の場へ外出し、挨拶やマナーなど、その場に応じた適切な行動ができるように。そして、ルールのある遊びを通して、なぜルールがあるのかを一緒に考え学びます。 自分の行動の特徴を知り、得意なことは伸ばし、不得手なことは挑戦する根気を育み、互いを素晴らしい存在だと賞賛しあい、皆が心地よく自然体で過ごしなが、共に成長してゆけるように。 【環境との関わり】 いのちの循環にふれる体験を重ねます。身の回りの環境や自然とのふれあいの中で、

	自然の中で過ごす時間は、子どもたちにとって、いのちの営みを肌で感じる大切な学びの時間。 落ち葉や木の実を使った工作、散歩の途中で出会った草花のお話などを通して、身近な自然へのまなざしを育てていきます。 プログラム例 「季節のさんぽ」 & 「おみやげノート」 四季折々の自然の中を歩き、落ち葉・どんぐり・草花などを持ち帰り、観察ノートに自由に貼ったり描いたり。 「自然素材のクラフト」 木の枝、貝殻、石などを使って自由に制作。自然と向き合う中で、ものの形や手触りに気づく力を育む。 「地域とつながる日」 近所の畑やお店へご挨拶。野菜の育ち方や、まちの人の暮らしにふれる日を設ける。	五感を通して「世界」とつながる感覚を育みます。 春にはたんぽぽの綿毛を追いかけて、夏にはセミの声を聞きながら、秋には色とりどりの葉っぱを集めて、冬には空気の冷たさに触れて。 自然の中で過ごす時間は、子どもたちにとって、いのちの営みを肌で感じる大切な学びの時間。 落ち葉や木の実を使った工作、散歩の途中で出会った草花のお話などを通して、身近な自然へのまなざしを育てていきます。 地域とのつながりの中で、共に生きる感覚や、感謝の気持ちも育まれていきます。 プログラム例 「季節のさんぽ」 & 「おみやげノート」 四季折々の自然の中を歩き、落ち葉・どんぐり・草花などを持ち帰り、観察ノートに自由に貼ったり描いたり。 「自然素材のクラフト」 木の枝、貝殻、石などを使って自由に制作。自然と向き合う中で、ものの形や手触りに気づく力を育む。 「地域とつながる日」 近所の畑やお店へご挨拶。野菜の育ち方や、まちの人の暮らしにふれる日を設ける。
--	--	--

6. 表現	表現のよろこび “その子だけの” 表し方を大切にします 子どもたちは、まだ言葉にならない思いを、音や色や動きで自然に表現します。 カスタネットでリズムを刻んだり、好きな色で画用紙いっぱいに気持ちを描いたり、音楽に合わせて身体を動かしたり…。 そうして自分の“内側”をかたちにできたとき、子どもたちの目はきらりと輝きます。 表現することは、心の奥にある思いを「ここにいていい」と感じられる力になります。 できあがった作品や動きに、答えはありません。 「こんな風に感じたんだね」「すてきだね」と一緒に味わい、感じる時間を大切にしています。 プログラム例 「音であそぼう♪」 タンバリン、カスタネット、太鼓などの楽器にふれながら、感じたままに音を鳴らして表現する。 「色とことばのじかん」 気持ちを色や線で描いてみる。作品にはその時の気持ちを一言添えて、言葉と表現をつなげる。 「自由におどるよミュージックタイム」 音楽に合わせて、ジャンプしたり揺れたり、即興で身体を動かす時間。「正しさ」ではなく「感じるまま」を大切に。	表現のよろこび “その子だけの” 表し方を大切にします 子どもたちは、まだ言葉にならない思いを、音や色や動きで自然に表現します。 カスタネットでリズムを刻んだり、好きな色で画用紙いっぱいに気持ちを描いたり、音楽に合わせて身体を動かしたり…。 そうして自分の“内側”をかたちにできたとき、子どもたちの目はきらりと輝きます。 表現することは、心の奥にある思いを「ここにいていい」と感じられる力になります。 できあがった作品や動きに、答えはありません。 「こんな風に感じたんだね」「すてきだね」と一緒に味わい、感じる時間を大切にしています。 プログラム例 「音であそぼう♪」 タンバリン、カスタネット、太鼓などの楽器にふれながら、感じたままに音を鳴らして表現する。 「色とことばのじかん」 気持ちを色や線で描いてみる。作品にはその時の気持ちを一言添えて、言葉と表現をつなげる。 「自由におどるよミュージックタイム」 音楽に合わせて、ジャンプしたり揺れたり、即興で身体を動かす時間。「正しさ」ではなく「感じるまま」を大切に。
-------	--	--

8) 家族支援（きょうだい含む）

//家族まるごとの「安心」と「希望」を支えます//

子ども一人ひとりが安心して育つには、家庭という根っこが安定していることが大切だと考えています。

日々のやりとりの中で、保護者の方の悩みに耳を傾け、共に考え、時には専門機関ともつながりながら、家族全体のサポートに取り組みます。

きょうだい児にも寄り添い、一緒に遊んだり、気持ちを聞いたりする中で、家族のつながりそのものがやさしく育まれていく場を育んでいます。

9) 移行支援（就学など）

//「自分らしく」次のステージへ歩めるように//

就学をはじめとする環境の切り替わりに向けて、子どもたちの「できた！」を積み重ね、自信につながる支援を行っています。

幼稚園・保育園、小学校などの関係機関と連携しながら、必要に応じて見学・引継ぎ・話し合い等も行い、保護者の皆さまと共に未来の道を整えていきます。

また、本人の心が整うよう、日常の中で小さな「選択」や「変化」を意識して取り入れ、次のステップに安心して進めるよう支援します。

10) 地域支援・地域連携

//まちの中で育み合う関係を//

地域の保育園・小学校・医療機関・行政・相談支援専門員などと連携しながら、子どもたちと家族が「地域の中で安心して過ごせる」環境づくりを進めています。

また、地域のイベントやお祭りなどにも可能な範囲で参加し、「知らない人」ではなく「つながる誰か」として、まちと関わり合う経験を大切にしています。

11) 職員の質の向上に対する取組み

//学び続けるチームでありたい//

子どもたちの「今」に向き合うために、職員一人ひとりが日々学び、育ち合う文化を大切にしています。

外部研修への参加や、施設内での事例共有・意見交換を通して、多様な視点と専門性を育て、支援の質を磨き続けています。

子どもたちの“いのちの輝き”をまっすぐ受けとめられる、しなやかで温かなチームであることを目指しています。

12) 主な行事等

//季節のめぐりを感じ、日常に彩りを//

節分・ひなまつり・七夕・夏祭り・ハロウィン・クリスマスなど、四季折々の行事を取り入れています。

手作りの飾りをつくったり、みんなで歌ったり踊ったりする中で、季節や文化を五感で味わい、「楽しい！」

「できた！」を重ねていきます。

また、映画鑑賞や近隣公園へのお出かけ、Natural & Organic Afterschool くるくる（学童保育）との合同企画や交流、オーガニックレストランLOVE TABLE（西梅田）でのお仕事体験など、日常の延長線上で“ちょっと特別”な体験も大切にしています。

補足：脳の発達と身体・食・動きの関係について

（Manmaが大切にしている“いのちの土台”のはなし）

Manmaでは、子どもの発達において「脳幹・神経回路」「身体感覚」「食と動き」の相互関係を大切にしています。以下にその背景を補足します。

自閉症・アスペルガー症候群・ADHD・LD・脳性まひ・てんかん・ダウン症・染色体異常.....等々、障がいは、中枢（脳・脊髄）の神経回路が未発達な状態（ちゃんと繋がっていない・途中で切れている等）にあると、頭蓋仙骨療法や脳機能改善研究の分野では、考えられており

脳の中枢のどこかに、捻れ・歪み・癒着などがあり（頭蓋仙骨療法では特に硬膜に着目するそうです）血液、脳脊髄液、ホルモン、気の流れが滞り、その結果十分な酸素や栄養が供給されず脳疲労から機能低下・誤作動を起こしている状態だと考察されています。

脳の中には数えきれないほど多くの神経回路（シナプス）がぎっしりと詰まっています。ほとんどすべての情報・刺激はごく簡単に説明すると、脳幹（延髄・橋・中脳）を通り、大脳に入って解析され、そして大脳から脳幹を通して末梢へ伝わっていきます。神経回路（シナプス）は、情報を送受信する大変重要な役割を持ちますが脳が未発達であるということは、神経回路（シナプス）の数も少なくとも脆弱な状態です。これでは、情報を正確に大量に処理することも難しく、処理時間も長くなります。その結果、日常生活で本人がしたくても出来

ない、また時間も長くなりすぎてしまうので、学校や幼稚園・保育園でのクラスの進行についていけず遅れてしまうということになってしまうのです。

脳を成長・発達させるためには、神経回路（シナプス）の数を増やし強くする刺激を与えることが大変重要であり、中枢神経回路の再構築・強化を行なうことで、いのちに備わっている機能がきちんと発動するよう誘います。

- ①脳の6つの重要基本機能に着目し
- ②生物進化過程に伴う脳神経科学に基づき
- ③脳の「神経可塑性」を活発化させ

本来のパフォーマンスが発揮できるようになるよう

ひとりひとりの人生と向き合います。

（これを叶えるためには、各ご家庭での取り組みも重要になります）

【ひとの脳の6つの重要な基本機能】

- 1) 視覚機能：焦点が合っているか。どちらの目を使っているのか。
- 2) 聴覚機能：聴覚過敏ではないか。ちゃんと聞こえているか。耳で聞いたことを理解する力。
- 3) 触覚機能：身体のどこかに過敏な場所はないか。物の認知力。
- 4) 運動機能：身体の左右の協調性は。筋肉の過緊張、過弛緩は無い。バランス機能。正しい腹ばい、四つ這いで移動しているか。
- 5) 言語機能：言葉は何語出ているか。発音ははっきりしているか。
- 6) 手の機能：手の使い方のコーディネーション。両手はどのように使っているか。えんぴつの握り方・箸の持ち方などかどうか。

【生物進化過程に伴う脳神経科学に基づいて】

- ・脳幹部（延髄・橋・中脳）・小脳 ＝（爬虫類の脳）
 - 呼吸・体温・循環・嚥下・食欲調整・意識の維持・筋の緊張や姿勢反射など生命維持に欠かせない重要な営みを司る
- ・大脳旧皮質 ＝（古哺乳類の脳・辺縁系）
 - 情動にかかわる脳
- ・大脳新皮質 ＝（哺乳類・人間の脳）
 - 時間や概念を理解する働き・言葉や記憶を司る